



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月3日

上場会社名 株式会社アサnte

上場取引所 東

コード番号 6073 URL <https://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮内 征

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 中尾 能之

TEL 03-3226-5511

四半期報告書提出予定日 2022年8月3日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,264	3.6	734	8.1	731	7.5	487	8.2
2022年3月期第1四半期	4,118		679		680		450	

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 499百万円 (10.2%) 2022年3月期第1四半期 453百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	44.43	
2022年3月期第1四半期	41.10	

(注)2021年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	14,948	11,717	78.4	1,067.60
2022年3月期	14,073	11,558	82.1	1,053.10

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 11,717百万円 2022年3月期 11,558百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		31.00		31.00	62.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		31.00		31.00	62.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,893	4.9	1,128	3.3	1,144	2.0	752	2.4	68.59
通期	14,320	4.5	1,471	11.1	1,484	10.1	954	64.8	86.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	12,348,500 株	2022年3月期	12,348,500 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	1,373,195 株	2022年3月期	1,373,195 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	10,975,305 株	2022年3月期1Q	10,963,805 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、2020年7月1日付で株式会社ハートフルホームの全株式を取得しました。これに伴い、2021年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。
2. この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和され、経済活動が正常化に向かい、企業収益や個人消費は持ち直しの動きが見られました。しかし、感染再拡大の懸念や資源価格の高騰により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループの市場におきましては、住宅政策において、既存住宅の長寿命化とメンテナンスを重視する方針は変わらず、潜在需要は依然大きいと見ております。

このような状況下において、当社グループは中長期的に安定的・持続的な成長を実現するため、「収益力の向上」「優秀な人材の確保と育成」「エリア展開の促進」「コンプライアンスの徹底」「新型コロナウイルス感染症への対応」に取り組んでまいりました。

なお、「収益力の向上」につきましては、新聞折込、WEB広告等の申込獲得に効果的な販売促進や、業務効率の改善に取り組みました。また、CMや探知犬のテレビ出演等により、当社並びに白蟻防除の必要性を幅広くアピールしてまいりました。

「エリア展開の促進」につきましては、2022年4月1日付で、既存エリア支店の統合及び改称を行なうと同時に、新規エリアとなる高知県に四万十営業所を開設しました。これにより、管理業務全般の効率化及び合理化を進めるとともに、新たな拠点を足掛かりとして西日本エリアへの一層の拡大を図ってまいります。

また、「新型コロナウイルス感染症への対応」につきましては、同感染症の影響を受けながらも、感染対策に十分な注意を払って事業活動に取り組んでまいりました。

以上の結果、第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比146百万円増加(3.6%増)の4,264百万円となりました。

売上原価は、前年同期比51百万円増加(4.4%増)しました。その結果、売上総利益は同94百万円増加(3.2%増)の3,028百万円となり、売上総利益率は同0.2ポイント低下して71.0%となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期比40百万円増加(1.8%増)しました。その結果、営業利益は同54百万円増加(8.1%増)の734百万円となり、営業利益率は同0.7ポイント上昇して17.2%となりました。経常利益は同51百万円増加(7.5%増)の731百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、同36百万円増加(8.2%増)の487百万円となりました。

(経営成績に関する特記事項)

当社グループの業績(特に利益)は、第2四半期連結累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、白蟻防除関連の売上高が増加するためであります。この季節的変動により、四半期連結会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前期末比875百万円増加し、14,948百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加、売掛金の増加であります。

負債は、前期末比715百万円増加し、3,231百万円となりました。主な要因は、賞与引当金の増加であります。

純資産は、前期末比159百万円増加し、11,717百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。

この結果、自己資本比率は78.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想などにつきましては、2022年5月10日公表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,656,770	7,024,794
売掛金	1,660,004	2,076,991
製品	63,230	65,252
仕掛品	28,618	33,930
原材料及び貯蔵品	195,332	213,290
その他	207,658	226,167
貸倒引当金	△1,171	△1,325
流動資産合計	8,810,443	9,639,100
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,380,607	1,365,624
土地	2,981,584	2,981,584
その他(純額)	136,184	129,146
有形固定資産合計	4,498,376	4,476,355
無形固定資産		
のれん	103,100	98,190
その他	49,372	47,068
無形固定資産合計	152,472	145,259
投資その他の資産		
その他	619,834	696,138
貸倒引当金	△7,287	△7,868
投資その他の資産合計	612,547	688,270
固定資産合計	5,263,396	5,309,885
資産合計	14,073,840	14,948,986
負債の部		
流動負債		
買掛金	326,275	356,947
1年内返済予定の長期借入金	188,391	191,350
未払法人税等	269,823	341,424
賞与引当金	288,766	479,426
その他の引当金	—	9,900
その他	926,813	1,302,177
流動負債合計	2,000,070	2,681,226
固定負債		
長期借入金	293,923	329,071
その他	221,730	221,411
固定負債合計	515,653	550,482
負債合計	2,515,724	3,231,708

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,195	1,161,195
資本剰余金	863,243	863,243
利益剰余金	11,617,901	11,765,253
自己株式	△2,037,256	△2,037,256
株主資本合計	11,605,082	11,752,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	278	275
退職給付に係る調整累計額	△47,244	△35,433
その他の包括利益累計額合計	△46,966	△35,157
純資産合計	11,558,116	11,717,277
負債純資産合計	14,073,840	14,948,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,118,355	4,264,880
売上原価	1,184,435	1,236,165
売上総利益	2,933,920	3,028,714
販売費及び一般管理費	2,254,037	2,294,054
営業利益	679,882	734,660
営業外収益		
受取利息	272	273
売電収入	505	551
その他	4,522	1,186
営業外収益合計	5,300	2,010
営業外費用		
支払利息	1,545	1,333
固定資産除却損	—	1,394
支払手数料	2,251	1,886
その他	751	158
営業外費用合計	4,548	4,772
経常利益	680,634	731,898
税金等調整前四半期純利益	680,634	731,898
法人税、住民税及び事業税	271,080	313,262
法人税等調整額	△41,106	△68,951
法人税等合計	229,973	244,311
四半期純利益	450,660	487,587
親会社株主に帰属する四半期純利益	450,660	487,587

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	450,660	487,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	△2
退職給付に係る調整額	2,443	11,811
その他の包括利益合計	2,350	11,808
四半期包括利益	453,011	499,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	453,011	499,395

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。